

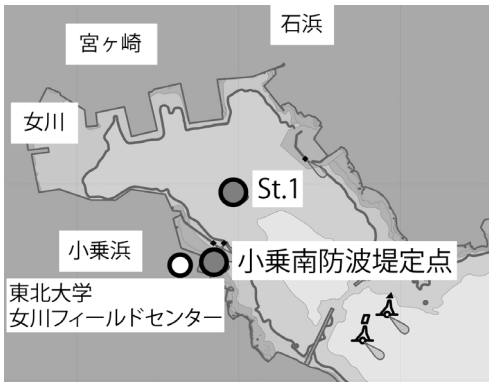
週刊 女川湾海況速報 (No.44)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

5 月 20 日から 5 月 24 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して水温は表層（0m）で上昇したが、底層（5m）では下降。経時的には 22 日まで全層で上昇傾向にあったが、23 日には一旦下降。塩分は先週と比較して全層で上昇。経時的にも 21 日と 23 日に全層で上昇。23 日の水温下降と塩分上昇は外洋水の影響と推定。

水深 [m]	5月20日 (月)	5月21日 (火)	5月22日 (水)	5月23日 (木)	5月24日 (金)
0	13.7 (30.7)	13.4 (31.8)	14.8 (31.7)	10.3 (33.3)	11.0 (33.0)
5	8.8 (33.2)	8.8 (33.3)	10.8 (32.7)	9.1 (33.2)	10.0 (33.2)

水温の単位は℃。カッコ内の塩分の単位は PSU (実用塩分単位)。\*20 日と 21 日は水深 6m のデータを使用。

②濁度：先週と比較して全層で上昇傾向。経時的にも 22 日まで上昇傾向にあったが、23 日には一旦下降。（単位は FTU）

水深 [m]	5月20日 (月)	5月21日 (火)	5月22日 (水)	5月23日 (木)	5月24日 (金)
0	0.9	1.3	1.3	0.8	0.9
5	1.1	1.1	1.6	1.2	1.3

③溶存酸素：先週と比較して全層で下降傾向にあったが、9~11mg/l 台を示した。経時的には 23 日に全層で一旦下降し、10.1mg/l 以下を示した。

水深 [m]	5月20日 (月)	5月21日 (火)	5月22日 (水)	5月23日 (木)	5月24日 (金)
0	10.7	10.7	11.0	9.3	9.7
5	10.9	11.4	11.6	10.1	10.2

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 7.9~14.5℃、31.8~33.4PSU の範囲にあり、鉛直的には水深 0m と 5m の間に大きな水温勾配(3.9℃/5m) が発達。濁度は 0.9~3.2FTU の範囲にあり、底層（19m）で最大。溶存酸素は 9.3~12.7mg/l の範囲にあり、底層で最小。

5 月 22 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分 [PSU]	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	14.5	31.8	1.4	11.6
5	10.6	32.7	2.2	12.4
10	9.0	33.2	0.9	12.7
15	8.3	33.3	0.9	11.4
19	7.9	33.4	3.2	9.3

本データの利用については、東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

[agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp](mailto:agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp)

までお問い合わせください。